

VI. 情報提供

1. 刊行物

刊行物名	内 容	発 行
技術情報誌 「KAMA(窯)」	<p>研究紹介、技術情報、お知らせ</p> <p>●55号</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭言：Volume #03 所長 宮本智美 ○TOPICS：「やきものでできる SDGs」 ーサステナブルな研究の取り組み事例と活用できる装置の紹介ー 目標 7：持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保 ①二酸化炭素排出量の削減に貢献する「低温焼成磁器」 陶磁器科 河野将明 ②エネルギーを使わずに冷却する「輻射放熱部材」 環境・機能材料科 秋月俊彦 ③食器洗浄時のエネルギーを削減する「油汚れ落ちの良い食器」 環境・機能材料科 秋月俊彦 目標 12：持続可能な消費と生産パターンを確保 ①廃石膏のリサイクルから生まれた「陶箱クッキー」 環境・機能材料科 秋月俊彦 ②陶磁器の不良品をハンドメイド素材に生まれ変わらせる「シー陶器」 陶磁器科 稲尾恭敬 ③陶磁器不良品を建材に生まれ変わらせた「波佐見テラゾ」 陶磁器科 吉田英樹 ○INFO：長崎県における SDGs の取り組み 戦略・デザイン科 桐山有司 INFO：令和 4 年度新規テーマの紹介 ①陶磁器分野における AI、IoT 活用技術の開発 陶磁器科 稲尾恭敬 ②陶磁器と異業種とのコラボレーションによる商品開発の研究 戦略・デザイン科 桐山有司 ○SERIES：新シリーズ センター特許・シーズ集 特許シーズ③低熱膨張陶磁器製品 環境・機能材料科 秋月俊彦 特許シーズ④導電性輻射放熱被膜の作製方法とその製品 環境・機能材料科 山口典男 ○NEWS： <ul style="list-style-type: none"> ①公式インスタグラムでビジュアル重視の情報を発信しています 戦略・デザイン科 依田慎二 ②長崎県立波佐見高校「美術・工芸科」と連携協力協定を結びました 研究企画課 永石雅基 ③「長崎デザインアワード 2022」募集のお知らせ 戦略・デザイン科 桐山有司 ○職員紹介「よろしくお願ひします。」 総務課長 田中義孝 <p>●56号</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭言：Volume #04 所長 宮本智美 ○TOPICS：「やきものの新しいカタチ」 ー見方を変え、使い方を替え、仕組みを換えたら見えてきたカタチー ①やきものの廃材を地域の中で再利用する「HASAMI no WA」(はさみのわ) 陶磁器科 吉田英樹 ②日常生活の不便さへの気づきから生まれた傘立^{バラシル}「Paracil」 戦略・デザイン科 桐山有司 ③セラミックの多孔質フィルターで空気をキレイに「燦^{さん}エアクリーン」 研究企画課 狩野伸自 ④アウトドアでも使える陶製のクッキングギア「hime」^{ハイム} 戦略・デザイン科 依田慎二 ○SERIES：新シリーズ センター特許・シーズ集 特許シーズ⑤銅材料製の放熱部材およびその製造方法 新産業創造課 山口典男 特許シーズ⑥光触媒 研究企画課 狩野伸自 	A4 判 6 ページ 発行月 7 月 (55 号) 3 月 (56 号) 発行部数 各 1,000 部

	<p>○NEWS :</p> <p>①陶磁器勉強会を開催しました 陶磁器科 吉田英樹 ②デザインセミナーを開催しました 戦略・デザイン科 桐山有司 ③環境・材料セミナーを開催しました 環境・機能材料科 秋月俊彦 ④波佐見高校制作の「窯ガチャ」が紹介されました ⑤「長崎デザインアワード2022」が決定しました ⑥今年度も「クイズ陶大王」を開催しました ⑦「波佐見アゲアゲTV」でセンターが紹介されました</p>	
業務報告	<p>○概要（沿革、業務内容、組織、職員配置、決算、土地・建物、設備等） ○研究業務（研究、発表、産業財産権等） ○技術支援業務（技術相談、企業訪問等） ○依頼業務（依頼試験、開放設備等） ○技術者養成（技術人材養成事業、セミナー事業） ○情報提供（刊行物等） ○その他（意見交換会、施設見学者数） 【資料】窯業・土石製品出荷額</p>	<p>A4判35ページ 発行月：7月 発行部数：300部</p>
研究報告	<p>○経常研究4件</p> <p>①「可塑性原料の探索とそれを用いた陶磁器素材の開発」 稲尾恭敬・吉田英樹・久田松学・岩永省吾・小林孝幸・山口英次 武内浩一（窯業技術センター元職員）</p> <p>②「デザインを活用した県産品の競争力強化のための商品開発支援の研究（その3）」桐山有司・友池知郁</p> <p>③「高機能セラミックス製品の3Dプリンティング技術開発」 依田慎二・秋月俊彦</p> <p>④「陶磁器関連製造技術を活用した多孔質素材の開発」 浦郷寛康・高松宏行・秋月俊彦</p> <p>○研究マネジメントFS（短報）</p> <p>⑤「IoT 技術を活用した焼成炉内温度分布のリアルタイム可視化に関する可能性調査」稲尾恭敬・吉田英樹・山口英次</p>	<p>A4判35ページ 発行月：10月 発行部数：220部</p>

2. ホームページによる業務紹介

目的	窯業技術センターの業務や活動内容を多くの人々に周知する。
アドレス	https://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/
アクセス件数	<p>トップページへのアクセス数：11,611件 総アクセスページ数：29,195件 期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日</p>

3. インスタグラムへの投稿

目的	窯業技術センターの技術情報や魅力ある長崎のやきものについて発信する。
アカウント	crcn_nagasaki
アカウント情報	<p>投稿数：54件 フォロワー数：383フォロワー</p>